

## 組織の概要 (企業用)

会社名 エノク アートプロデュース

|            |                                                                                                                                                                                             |      |      |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|
| 所在地        | 〒107 - 0062 港区南青山 2-18-2 竹中スリービル 402<br>TEL:03-3403-7660 FAX:03-3403-7670<br>E-mail:k-yamada@enoch.co.jp                                                                                    |      |      |
| ホームページ     | <a href="http://www.enoch.co.jp">http://www.enoch.co.jp</a>                                                                                                                                 |      |      |
| 設立年月       | 2003 年 8 月                                                                                                                                                                                  |      |      |
| 代表者        | 山田宏治                                                                                                                                                                                        | 担当者  | 山田宏治 |
| 資本金        | 5 百万円                                                                                                                                                                                       | 従業員数 | 4 名  |
| 沿革         | 当社は現代アートの支援育成を主たる目的として、2001 年 8 月に設立し、有能だが無名の作家のために展覧会を開いたり、プロモーションを続けている。その他に、アート関連で下記のような幅広い活動を行っている。                                                                                     |      |      |
| 事業概要       | 各種アートビジネス全般<br>1. 美術展企画・運営など現代アート支援・育成<br>2. 現代アートの作品の販売<br>3. 有名作家の作品売買斡旋<br>4. デジタル版画販売・レンタル<br>5. 美術館経営指導を含む各種ミュージアム・サービス<br>6. 企業コレクションのアドバイス<br>7. アーティストのマネージメント<br>8. 政策提言組織「アドボケ」主宰 |      |      |
| 環境に関する活動実績 | 当社は政策提言組織であり、環境に関する提言も何度か行なっているがそれ以上の活動は本務ではないので、行なっていない。                                                                                                                                   |      |      |

## 政策のテーマ：「脱車社会」

- 政策の分野
  - ・ 地球温暖化対策
  - ・
- 政策の手段

団体名：エノク アートプロデュース

担当者名：山田宏治

1. 日本の中都市に貨物コンテナ輸送用コンベアベルトのネットワークを構築する。高速道路の両側にある空き地を利用すればベルトを造れるので、用地買収費が掛からない。

2. このシフトを促進するには、鉄道、船舶、ベルトの利用に対して補助金を出し、トラックの高速道路料金を高くすれば良い。

## 政策の目的

地球温暖化の元凶である車の排気ガスを減らすために、貨物輸送や通勤、営業に使う車の使用を思い切って減らすこと。

この案は、鉄道網の発達した日本だからこそ、世界に先駆けて実現できるのであり、日本がやれば、ヨーロッパも追随するだろう。

日本が目指すべきは、文化大国、環境大国。日本が世界に先駆けて行なう、しかも、世界に貢献できる最初の活動であり、地球温暖化問題解決の切り札として何としても実現させたい。

## 背景および現状の問題点

1. 世界中の人々が、現在の車社会を必要悪としか認識していないことが、間違いであり、

車の利用を制限することは、不便を強いられることであるとの受け止め方が強い。しかし、大型貨物トラックの使用を止めても、市民の生活に支障が出ないような対策があるのだということを知って貰いたい。

2. 通勤や営業用でも、車を使わないで済む方が本人にも社会にもベターであることを認識して貰いたい。要は発想の転換である。

3. 日本の環境行政が進まないのは、実質的に、経済産業省が環境省の上にいるという力関係に起因する。この関係を変えるためには政治の力が必要で、経団連会長であった奥田氏が退任した今こそ、時期が熟したと言える。

## 政策の概要

1.私の地球環境問題の原点は、神さまが造られた美しい地球、美しい自然と、それを持続させるための完璧な循環システムの機能を、人間の叡知を使って回復することです。

2.私は今日地球環境問題の中でも大きい温暖化問題の具体的解決策として「**脱車社会**」という新しい概念を提案したい。

温暖化の最大の原因は自動車の排気ガスだから、車社会からの脱却しか根本的解決はない。具体的には2つある。

(1)大型貨物トラックを日本の道路上から追放すること。

トラックに取って代わるのは、鉄道、船、そしてコンベアベルトの三つの方法です。日本全国の中都市に貨物輸送用大型コンテナ輸送のためのコンベアベルトのネットワークを造り、中都市から先は小型トラックで配送する。

(2)SOHO オフィスの整備によってサラリーマンの通勤、営業の車と通勤電車の利用を大幅に削減すること。

政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）

1.経済産業省と環境省の力関係を変えるために政治の出動

2.道路公団と土建業界の談合体質を変えるために政治の出動

3.SOHOオフィスの施設造りは、地方自治体の仕事であり、中央政府の仕事ではないが、各県が質量とも同レベルの施設を準備するために、国からの補助金が必要かも知れない。

1.経済産業省と環境省の力関係を変えるために、政治を動かす。

2.道路公団と土建業界の談合体質を変えるためにも、政治の力が必要。

政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

三菱商事と横浜ゴム、三ツ星ゴム、バンドーベルトのベルトメーカー大手3社

政策の実施により期待される効果（具体的にお書きください）

「脱車社会」が実現されるとその効果はいろいろな面に現われる。

1)CO2 排出削減によって地球温暖化を防止する

2)道路は乗用車だけになり、事故が減少する

3)道路維持費が大幅に削減され、高速道路の新設も不要、道路財源が余って、これを財源として減税をすれば景気が良くなる

4)花粉症、アトピーなど健康が改善される

5)交通渋滞解消でガソリン消費量が減り、快適な生活環境が実現する

6)通勤電車の利用が減れば電力消費量が減少する

7)ガソリン消費量が大幅に減少し、石油資源の枯渇問題が解消する

8)石油価格が下落し、生活費が節減される

9)中東の石油資源に依存している日本経済の最大の不安要因が取り除かれる

10) 通勤時間短縮でサラリーマンが家族と過ごす時間が増え、文化を楽しむゆとりが  
生まれる  
正に一石十鳥です。

その他・特記事項